付則３　　保安施設設置基準

八戸圏域水道企業団保安施設設置基準

（目　　的）

第1　この保安施設設置基準（以下単に「基準」という。）は青森県県土整備部制定の「青森県県土整備部保安施設設置基準」に基づき八戸圏域水道企業団において道路で行う場合の保安施設を設置する基準を定め、もって円滑な道路交通と、現場作業員の安全を確保することを目的とする。

（適用範囲）

第2　保安施設の設置にあたっては、他の通達等に定めるもののほか、次に掲げる１号および2号の工事の場合は、この基準により、3号に掲げる工事の場合にあっては、現場条件等を勘案し、原則としてこの基準によるものとする。

(1)　一般の交通の用に供している道路で行う道路の維持修繕工事および舗装工事。

(2)　一般の交通の用に供している道路で行う道路法第22条に基づく原因者に対する工事施行命令による工事および同法第24条に基づく道路管理者以外のものが行う工事並びに同法第32条または第35条に基づく道路占用にともなう工事。

(3)　一般の交通の用に供している道路で行う前1～2項を除いた工事。

（保安施設の種類及び設置目的）

第3　保安施設の種類及び設置目的は次のとおりとする。

施設	記号	交通の誘導	立入防止	場所の明示予告	交通指導	その他	摘要
照明灯	☃			○			300～500W
保安灯	⦿						保安灯は標準図に示す位置に設置する。
歩道柵	—•—•—	○	○	○			
バリケード	>——<		○	○			砂袋等にて半固定されたバリケード
セーフティーコン	○	○		○			
警戒標識 (213)	①			○			
工事箇所予告標示板	①			○			
警戒標識又は (211) (212)	②			○			
〃 (211-2)	③			○			
規制標識 (311-E)	④	○			○		
〃 (329)	⑤				○		
工事名標示板	⑥					○	
お願い標示板	⑦					○	
黄色回転灯	⑩			○			
保安要員		○	○		○	○	
交通整理員		○			○		旗の寸法は70×75cm程度,色彩は赤と緑
標識搭載車		○	○	○	○	○	

施　　設	記　号	交通の誘導	立入防止	場所の明示予告	交通誘導	その他	摘　　要
誘導標示板	⑪	○		○	○		
まわり道案内標示板	⑫					○	
まわり道案内標示板(120-A)	⑬					○	
簡易信号機	○○	○			○		
※　連結式保安灯は40Wを3m間隔に設置する。 チューブ式保安灯は出入口部は40W、中央部は30Wを設置する。							

（設　　置）

第4　保安施設は、別途－1「保安施設標準様式図」にもとづき､別途1－2「保安施設設置標準図一覧表」により工事形態に則した保安施設を設置することを原則する。ただし、工事形態によりこれによれない場合は本基準を参考として保安施設を設置するものとする。

又設置にあたっては次の各号について特に注意して実施しなければならない。

(1)　工事箇所の手前100m、200m、300mの地点にそれぞれ工事箇所予告標示板を設置すること。なお、水道工事中であることを必ず明示すること。

(2)　夜間工事中の箇所又は工事終了後夜間放置する箇所には、必ず保安灯を設置すること。

(3)　工事終了後路面を仮復旧して、一般の交通の用に供する場合で、工事箇所として示す必要がある箇所については、注意標識、保安灯等を設置すること。

(4)　道路上に止む得ず機械、材料等をおく場合は、この基準により設置すること。

(5)　標識類は原則として全面反射とすること。

(6)　警戒標識は1.6倍、規則標識は1.5倍を原則とする。ただし、道路の状況等により前者を1.3倍、後者を1.0倍とすることができる。

(7)　路面清掃又は目地補修等で、作業箇所が移動する場合は、作業中標識、セーフティーコーンを主体に設置し、必要に応じ工事箇所予告標識を設置すること。

(8)　作業員は保安帽を着用するものとし、必要により安全衣をあわせて着用する。また、交通整備員は、保安帽及び安全衣を必ず着用すること。

第5　この基準は昭和60年4月1日から適用する。

注　関係通達

１．昭和37．8．7　（道発第331号）道路工事執行要綱について

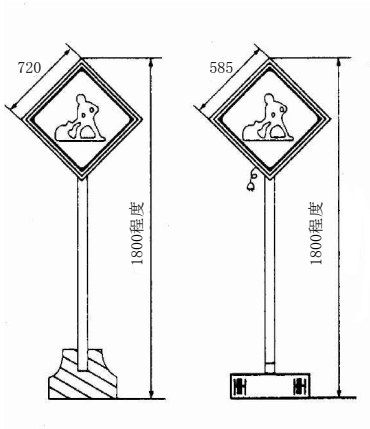
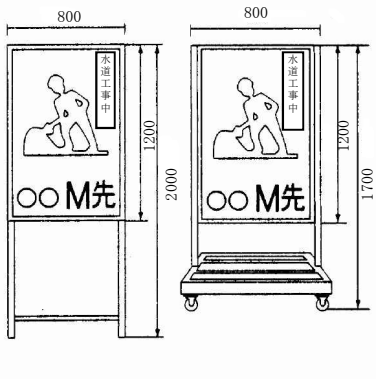
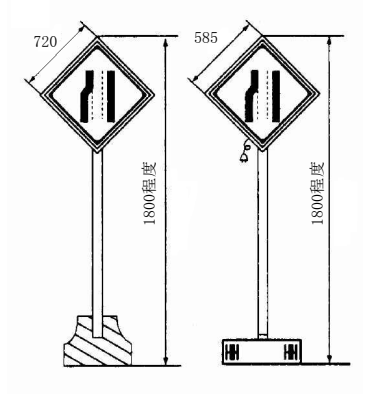
２．昭和37．8.30　（道発第372号）道路工事現場における表示施設等の設置基準について

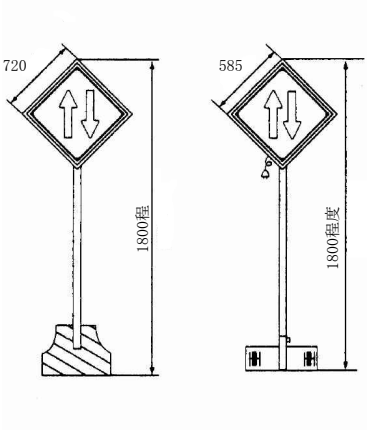
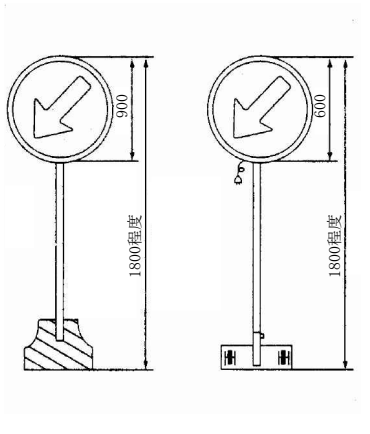
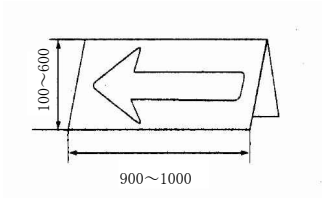
３．昭和37.12.27　（道発第558号）道路工事中における交通処理について

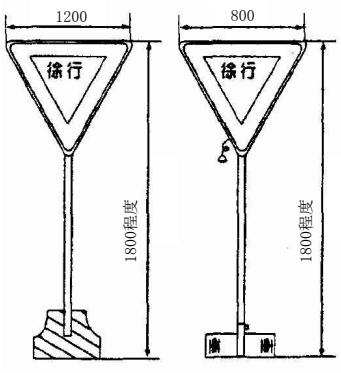
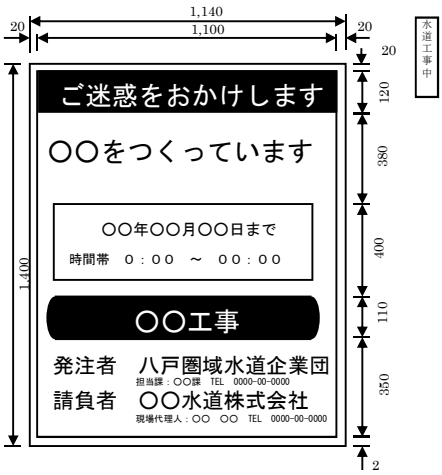
４．昭和38.10.19　（道発第473号）道路工事に関する工事の監督強化について

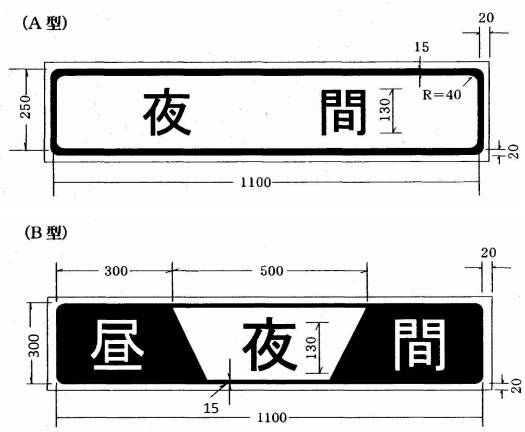
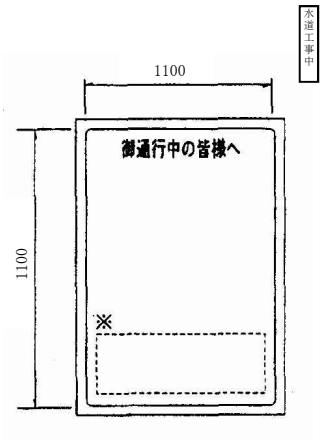
５．昭和46.11.19　（計建発第76～1）市街地土木工事公衆災害防止対策要綱について

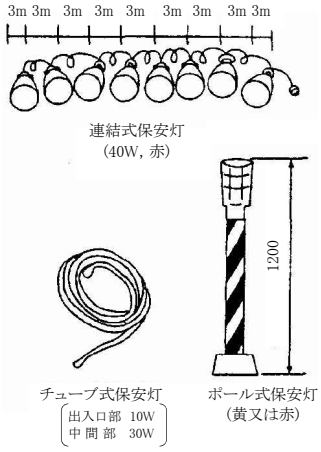
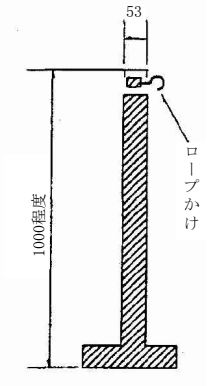
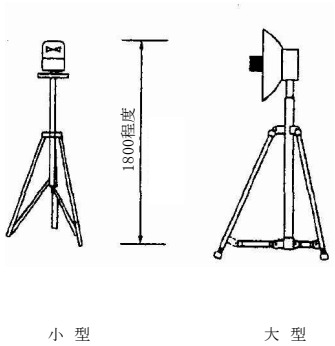
６．昭和47．2　（道路局国道第一課）道路工事保安施設設置基準（案）

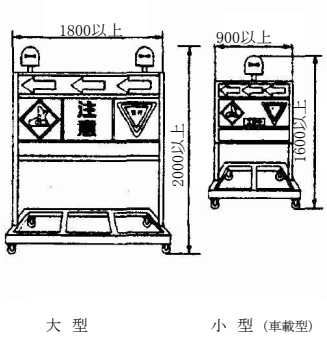
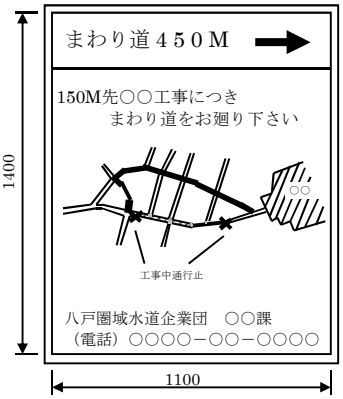
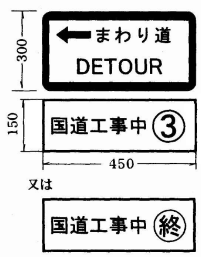
保 安 施 設 標 準 様 式 図			
記 号	①	①’	②
名 称	警 戒 標 識 (213)	工事箇所予告表示板	警 戒 標 識 (211)又は(212)
様式および標準寸法（単位mm）			
注	拡大率1.6倍を標準とする。 全面反射シート貼付とする。 材質は鋼板又はアルミ板 内部照明式 拡大率1.3倍を標準とする。 照明度40W程度とする。	地色は青色文字及び図縁は白銀を用いる。 全面反射シート貼付とする。 電 照 式 左記と同じ	拡大率1.6倍を標準とする。 全面反射シート貼付とする。 材質は鋼板又はアルミ板 内部照明式 拡大率1.3倍を標準とする。 照明度40W程度とする。

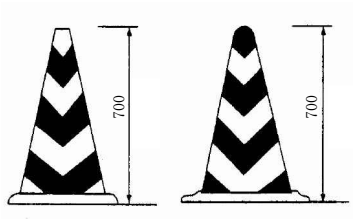
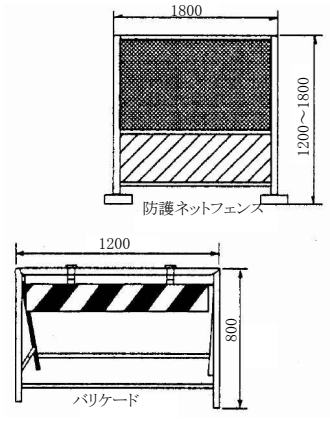
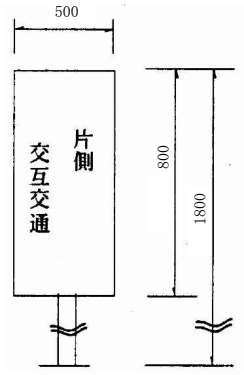
保 安 施 設 標 準 様 式 図			
記 号	③	④	④’
名 称	警 戒 標 識 (212-2)	規 制 標 識 (311-E)	
様式および標準寸法（単位mm）			
注	拡大率1.6倍を標準とする。 全面反射シート貼付とする。 材質は鋼板又はアルミ板 内部照明式 拡大率1.3倍を標準とする。 照明度40W程度とする。	拡大率1.5倍を標準とする。 全面反射シート貼付とする。 材質は鋼板又はアルミ板 内部照明式 拡大率1.0倍を標準とする。 照明度40W程度とする。	全面反射シート貼付とする。 材質：鋼板又はアルミ板

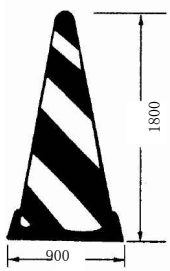
保安施設標準様式図			
記号	⑤	⑤’	⑥
名称	規制標識(329)		工事名表示板
様式および標準寸法（単位mm）			
注	拡大率1.5倍を標準とする。 全面反射シート貼付とする。 材質は鋼板又はアルミ板 内部照明式 拡大率1.0倍を標準とする。 照明度40W程度とする。	全面反射シート貼付式とする。	(1) 色彩は「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文、「○○工事」等の工 事種別については青地に白抜き文字とし、「○○をつくっています」等の工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。 (2) 工事期間については、契約期間の工事終了日、工事時間帯等を標示するものとする。 (3) 区間等に変更があった場合は、直ちに修正するものとする。 (4) 発注者の(電話)は監督員(勤務地)の連絡先とする。

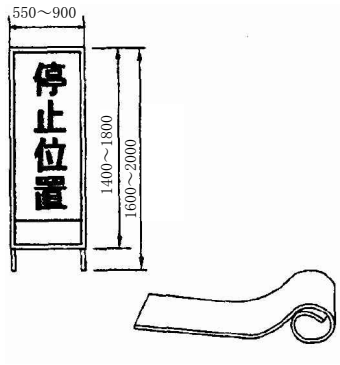
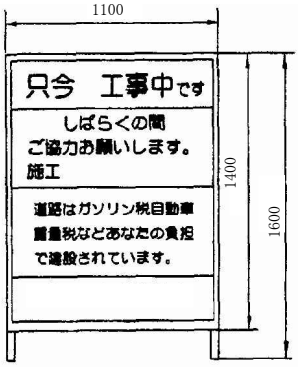
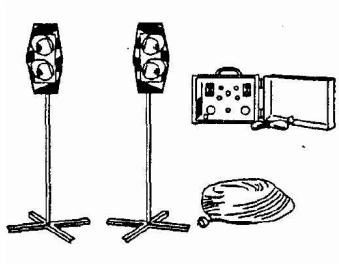
保安施設標準様式図		
記号	⑥	⑦
名称	夜間作業又は昼夜兼業作業の掲示板	お願い表示板
様式および標準寸法（単位mm）		
注	(1) 工事名表示板の真上に表示するものとする。 (2) 色彩は、縁及びA型の地，B型の「昼」及び「間」の文字並びにB型の中央部の地を白色とし、縁線及びA型の文字，B型の左右の地及び「夜」の文字を青色とする。 (3) 縁の余白は2cm，縁線の太さは1.5cmとする。	白地に黒文字とする。 ※ 受注者 ○○○○○ 電話番号TEL ○○○○○ 現場代理人 ○○○○○

保安施設標準様式図			
記号	⑧	⑨	⑩
名称	保安灯	歩道柵	回転灯
様式および標準寸法（単位㎜）			
注	(1) 確認距離．夜間150m以上の効果をもつものであること。	(1) 柱およびロープは、黒背の縞をほどこすものする。 (2) ロープの外径は12㎜以上とする。 (3) 柱間隔は約3mを標準とする。	確認距離200m以上の効果をもつ黄色 (赤色)回転灯とする、

保安施設標準様式図			
記号	⑪	⑫	⑬
名称	誘導標示板	まわり道案内表示板	まわり道標識(120-A)
様式および標準寸法（単位㎜）			
注	(1) 内部照明するものとし矢印「←」は点滅式とする。 パネル標識版は規制標識，警戒標識を併用する。 (2) 標識板頂部には、視認距離200m以上の効果をもつ点滅式黄色注意灯を設置する。	(1) 色彩は、矢印を赤色、その他の文字及び記号を青色、地を白色とする。 (2) 縁の余白は2cm、縁線の太さは1cmとする。 (3) 必要に応じて「まわり道450M→」又は→の文字若しくは記号に反射装置を施すものとする。	字体，文字，地色は⑫に同じ

保安施設標準様式図			
記号	○		
名称	セフティーコーン	バリケード	標示板
様式および標準寸法（単位mm）			
注	1. 反射式又は内部照明式とする。 2. 材質，ラバー製・樹脂製とする。	1. バリケード鋼製。 2. 板は反射式とする。	地を白色とし、縁及び文字を青色，反射式とする。

保安施設標準様式図（必要のある場合設置する）					
記号					
名称	その他の危険(警戒標識215	車線数減少予告表示板	片側通行表示板	片側通行予告表示板	大型カラーコーン(内部照明付)
様式および標準寸法（単位mm）					
注	拡大率1.6倍標準とする。 （全面反射）	(1) 地を白地，文字及び縁を赤色とする。 (2) 全面反射シート貼付式とする。 ※「水道工事中」を必ず明記すること。	全面反射シート貼付式とする。 ※「水道工事中」を必ず明記すること。	(1) 地を白地，文字及び縁を赤色とする。 (2) 全面反射シート貼付式とする。 ※「水道工事中」を必ず明記すること。	内部照明又は反射式とする。

保安施設標準様式図（必要のある場合設置する）			
記　号			
名　称	停　　止　　板	ガソリン税協力依頼標示板	簡　易　信　号　機
様式および標準寸法（単位mm）			
注	全面反射シート　　ゴ　ム　製 貼付式とする。　　停止ライン	1.白地に青文字とする。 2.「ガソリン税・自動車重量税など」は赤文字とする。	1.二灯式（赤青）を標準とする。 2.レンズ径は200φ以上とする。

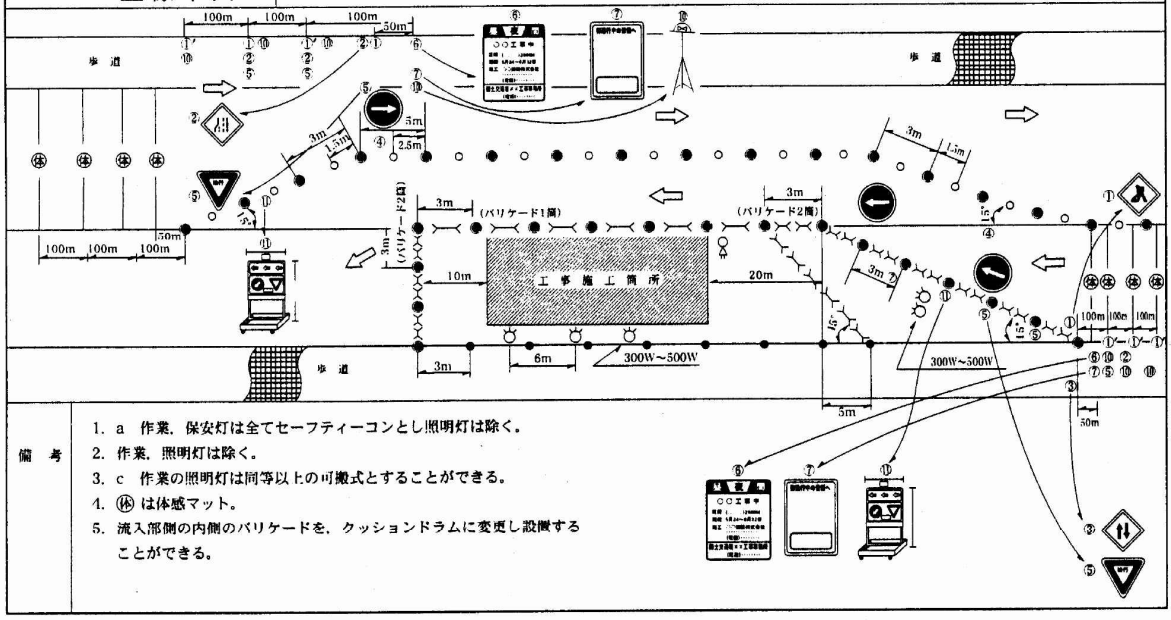
保安施設設置標準図一覧表

（例示のない場合，適用条件類似のものに準じて処理のこと。）

呼　称	車線数	作業箇所	昼・夜間作業別条件	適　　用
A－1	4	片側全車線	a　昼間作業　（夜間は施設を撤去）	車道舗装（打替、オーバーレー等を含む。）
			b　〃　（夜間も施設を存置）	
			c　夜間作業　（昼間は施設を撤去）	
A－2	2	〃	a　昼間作業　（夜間は施設を撤去）	〃
			b　〃　（夜間も施設を存置）	
			c　夜間作業　（昼間は施設を撤去）	
A－3	4以上	片側一部車線	a　昼間作業　（夜間は施設を撤去）	〃
			c　夜間作業　（昼間は施設を撤去）	
A－4	2，4	路　　側	b　昼間作業　（夜間も施設を存置）	現道拡巾工事
C－1	2	片側全車線	a　昼間作業　（夜間は施設を撤去）	局部打換（小規模）、パッチング等
			c　夜間作業　（昼間は施設を撤去）	
C－2	4以上	片側一部車線	a　昼間作業　（夜間は施設を撤去）	〃
			c　夜間作業　（昼間は施設を撤去）	
E－1	－	－	昼間作業　（夜間は施設を撤去）	レーンマーク作業
E－2	－	－	〃　（夜間も施設を存置）	路面表示作業
F－3	－	路　　側	a　昼間作業　（夜間は施設を撤去）	短時間の路側作業（人力）
			c　夜間作業　（昼間は施設を撤去）	
H－1	－	歩道・路側	b　昼間作業　（夜間も施設を存置）	路側作業
H－1	－	路　　側	b　〃　（夜間も施設を存置）	〃

A—1型標準図

4車線：片側全車線閉塞（a，b，c作業）

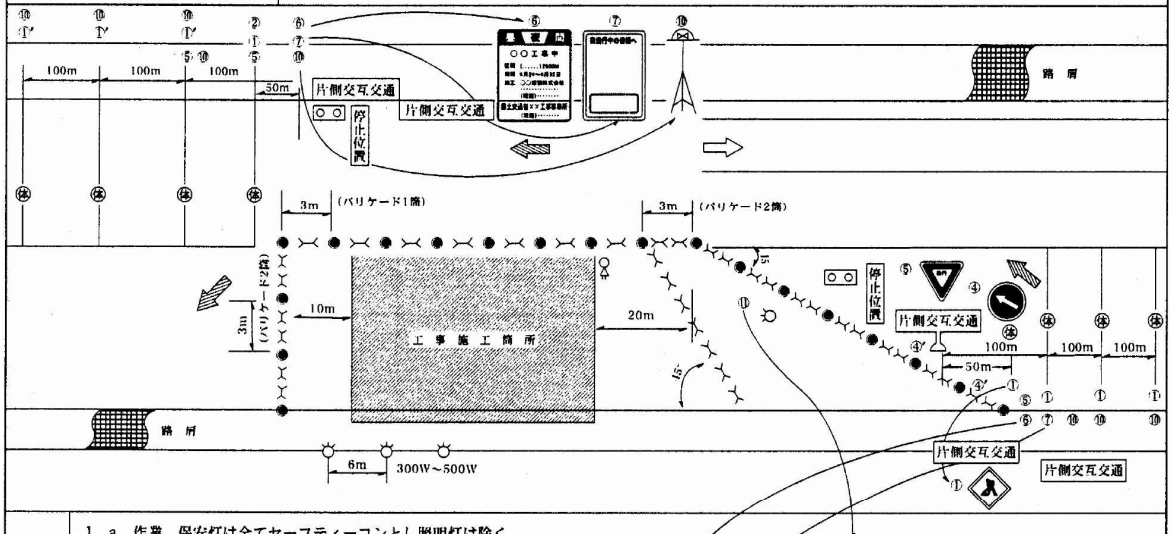


備考

1. a 作業，保安灯は全てセーフティーコンとし照明灯は除く。
2. 作業，照明灯は除く。
3. c 作業の照明灯は同等以上の可搬式とすることができる。
4. ㊡は体感マット。
5. 流入部側の内側のバリケードを，クッションドラムに変更し設置することができる。

A—2型標準図

2車線：片側全線閉塞（a，b，c作業）

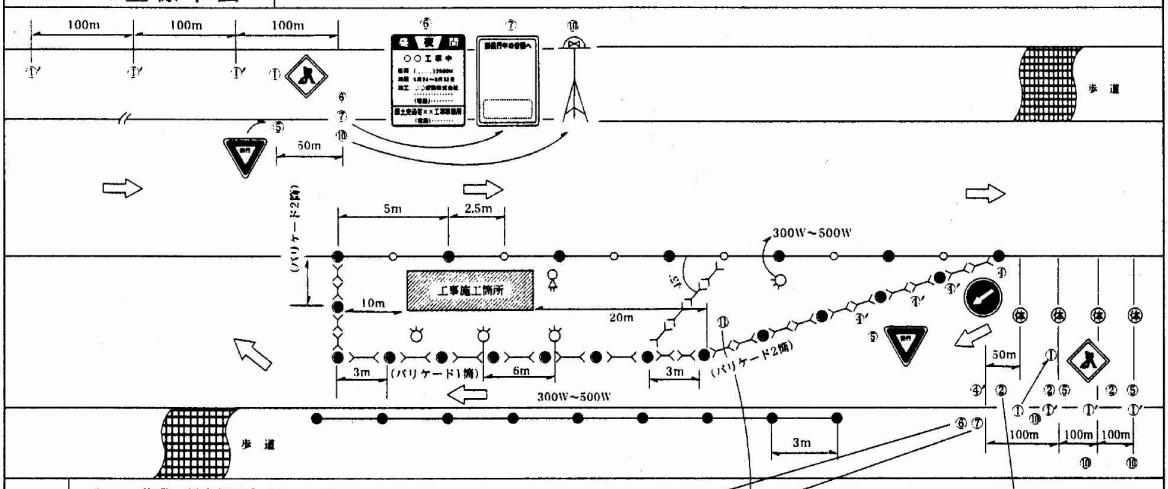


備考

1. a 作業，保安灯は全てセーフティーコンとし照明灯は除く。
2. b 作業，照明灯は除く。
3. c 作業の照明灯は同等以上の可搬式とすることができる。
4. ㊡は体感マット。
5. 流入部側の内側のバリケードを，クッションドラムに変更し設置することができる。

A—3型標準図

4車線以上：片側一車線以上通行可（a，c作業）

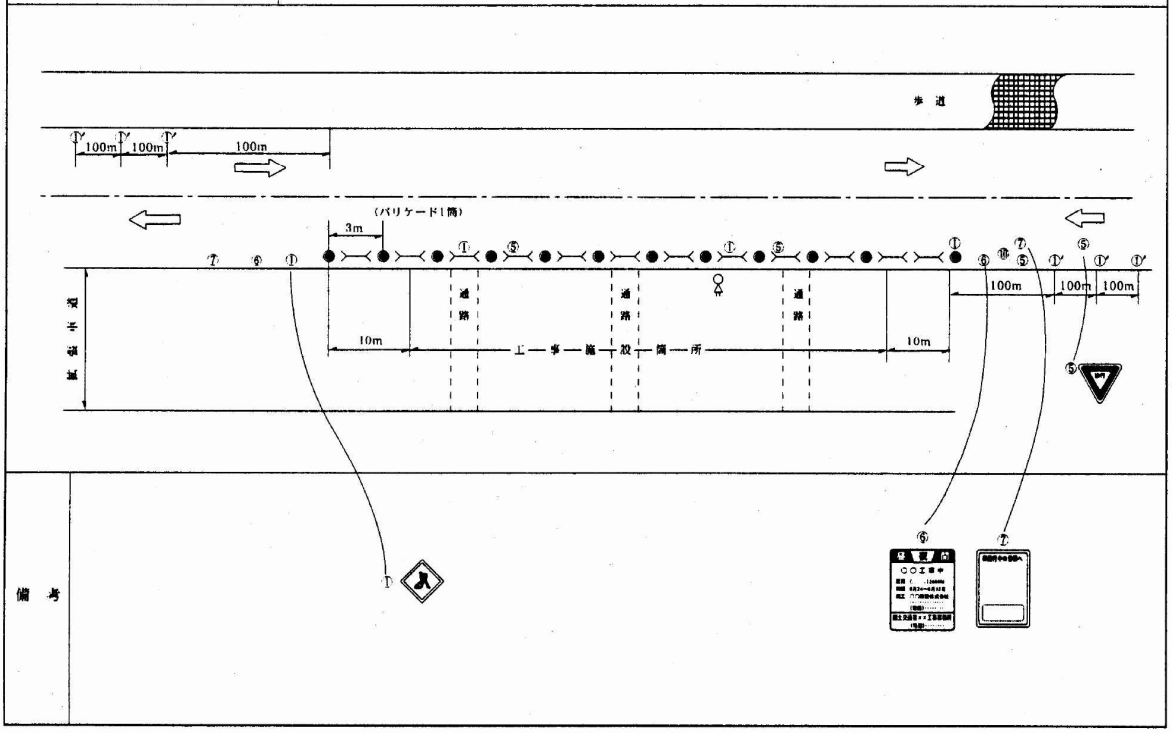


備考

1. a 作業，保安灯は全てセーフティーコンとし照明灯は除く。
2. c 作業で保安灯の中央部（車線中央）等の固定は歩道柵・固定金具（棒鋼等）等によるものとする。
3. c 作業の照明灯は同等以上の可搬式とすることができる。
4. ㊦は体感マット。
5. 流入部側の内側のバリケードを，クッションドラムに変更し設置することができる。

A—4型標準図

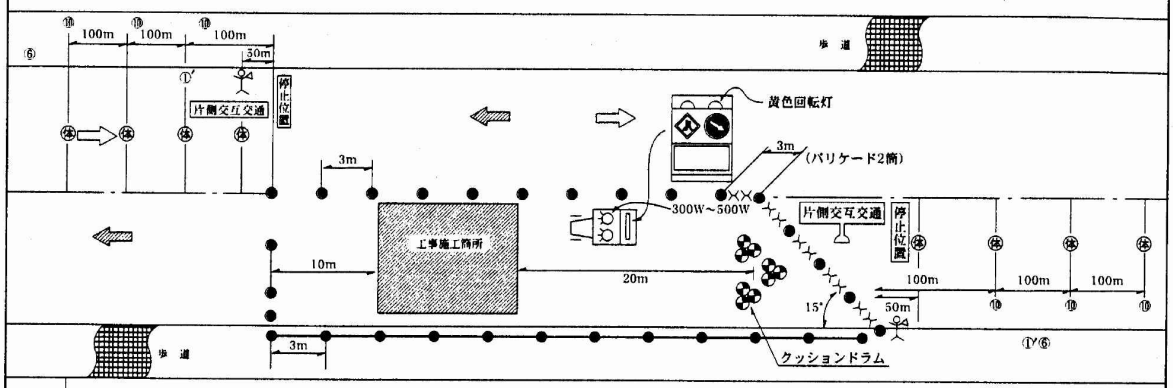
2，4車線（b作業）



備考

C—1型標準図

2車線：片側全車線閉塞：局部打換（小規模）：パッチング等（a，c作業）

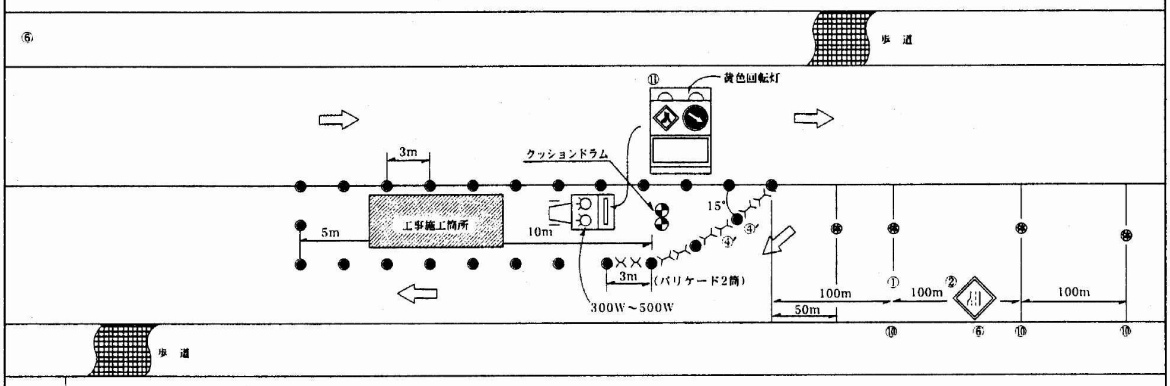


備考

1. 工事区間の起，終点に⑥を設置すること。
2. a 作業，保安灯は全てセーフティーコーンとし照明灯は除く。
3. ㊙は体感マット。
4. クッションドラムは，流入部側バリケード内に設置すること。

C—2型標準図

4車線以上：片側一車線以上通行可：局部打換（小規模）：パッチング等（a，c作業）

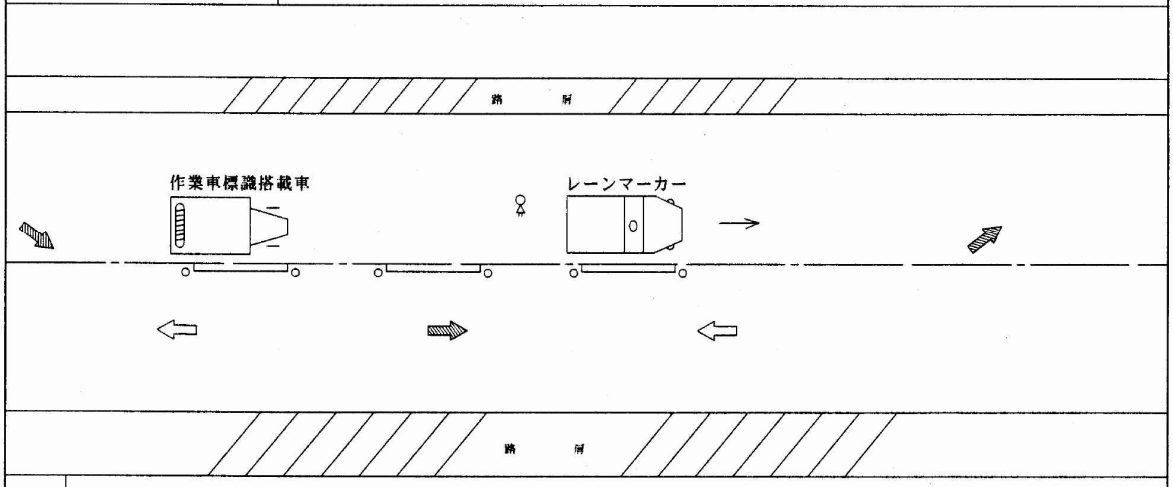


備考

1. 工事区間の起終点に⑥を設置すること。
2. a 作業，保安灯は全てセーフティーコーンとし照明灯は除く。
3. ㊙は体感マット。
4. クッションドラムは，流入部側バリケード内に設置すること。

E—1型 標準図

レーンマーク作業：昼間作業

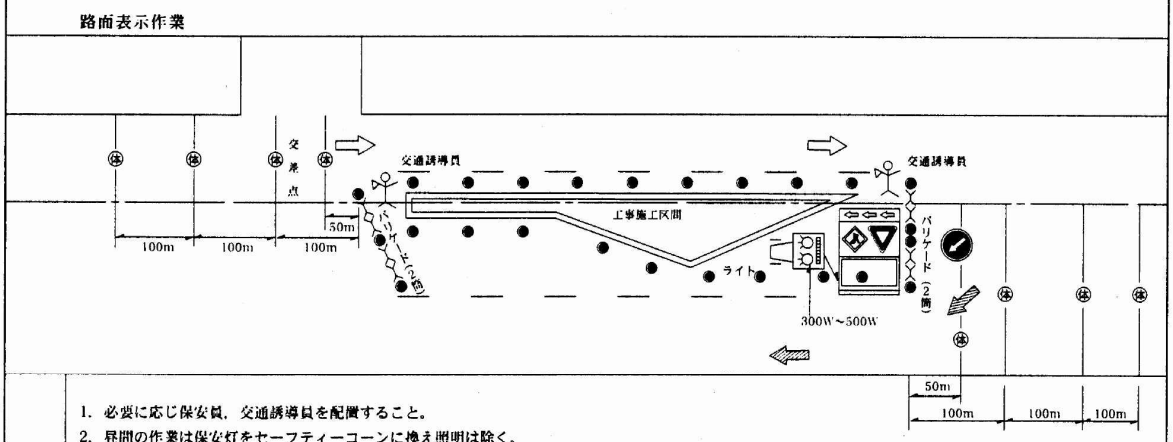


備考

1. 作業実施には防護用に作業車を配置する。
2. 必要に応じ保安要員，交通誘導員を配置すること。
3. 標識搭載車に車間距離標示板を取り付ける。
4. 標識搭載車に警報装置を取り付ける。

E—2型 標準図

路面表示作業（a，c作業）

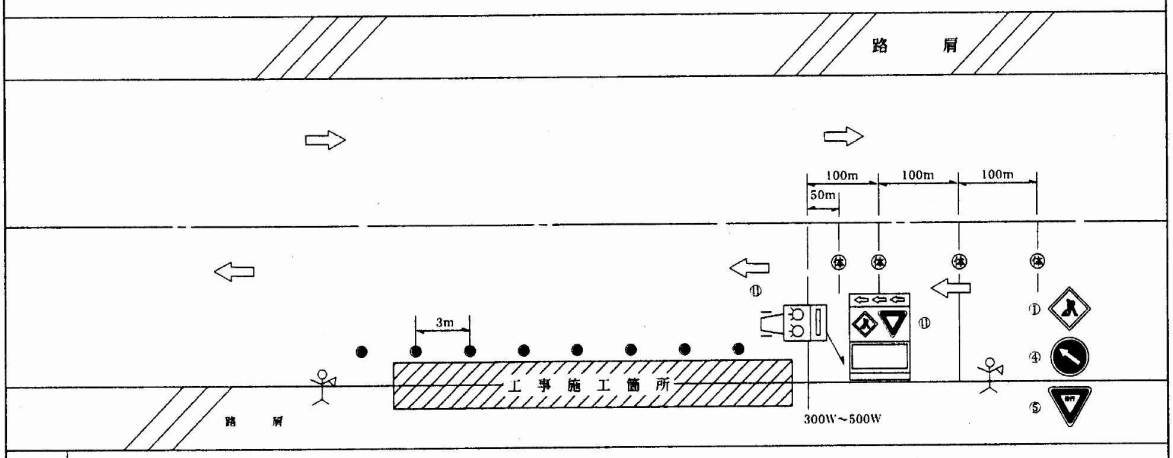


備考

1. 必要に応じ保安員，交通誘導員を配置すること。
2. 昼間の作業は保安灯をセーフティーコーンに換え照明は除く。
3. ㊡は体感マット。

F—3型 標準図

短時間の路側作業（人力）：側溝，ガードレール，標識等の設置，修繕，清掃等（a，c作業）

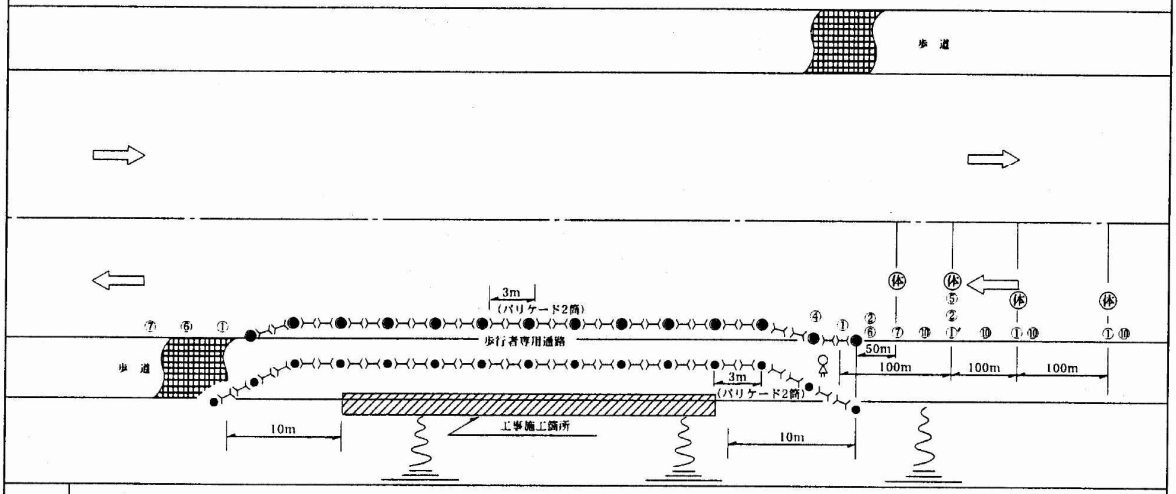


備考

(1) 昼間作業の場合は保安灯をセーフティーコーンに換え照明は除く。
(2) ①の設置数，距離は交通量その他現地の状況により増量する。
(3) ㊢は体感マット。

H—1型標準図

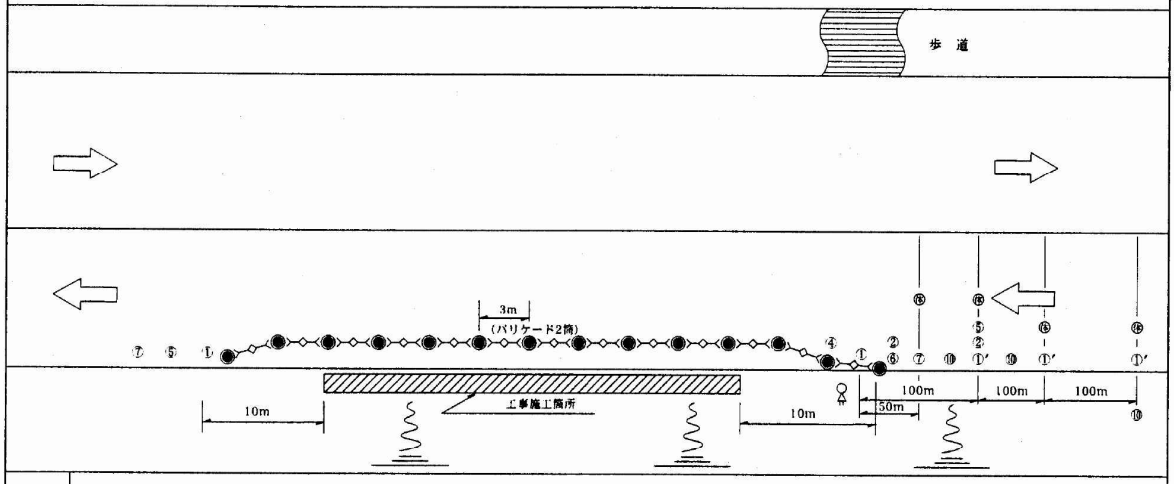
路面作業　2車線（b作業）



備考

1. ㊢は体感マット。

H－2型標準図	路面作業　2車線（b作業）



備考	1. ㊙は体感マット。

○　工事標示板及び迂回路の施設

1　工事名標示板
工事区間の起終点付近の見易い箇所に設置する。

2　まわり道の標示
まわり道の入口に(1)のまわり道標示板を設置し、まわり道の途中の各交差点においては、参考(1)、(2)に示す要領により、補助版(2)等を設置するものとする。

3　防止棚等
危険、立入禁止のため棚を設ける場合は、当該箇所にバリケード等適当な設備を設置し、必要な標識類を設置する。

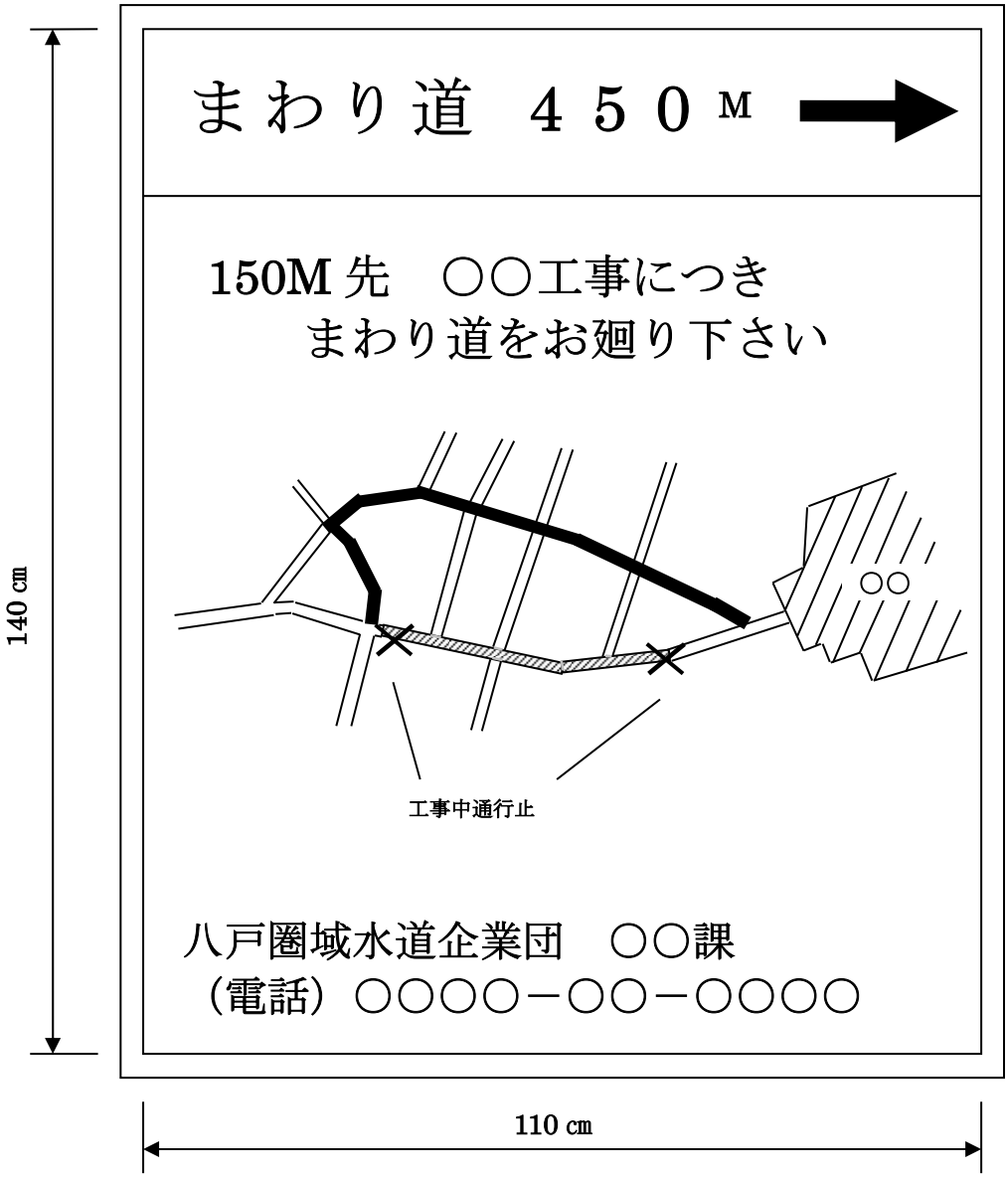
工事標示板及び迂回路の施設の記載例

1　工事標示板（記載例）
工事区間の始終点付近の見易い箇所に設置する。

注　1　色彩は「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文、「〇〇工事」等の工事種別については青地に白抜き文字とし、「〇〇をつくっています」等の工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。
2　工事期間については、契約期間の工事終了日、工事時間帯等を標示するものとする。
3　区間等に変更があった場合は、直ちに修正するものとする。
4　発注者の（電話）は監督職員（勤務地）の連絡先とする。

２　　迂回路の標示（記載例）

道路工事で迂回路を設置するにあたっては、迂回路の入口に（１）のまわり道標示板を設置し、迂回路の途中の各交差点においては、参考の（１）、（２）に示す要領により設置するものとする。



注　１　　色彩は、矢印を赤色、その他の文字及び記号を青色、地を白色とする。

２　　縁の余白は２㎝、縁線の太さは１㎝とする。

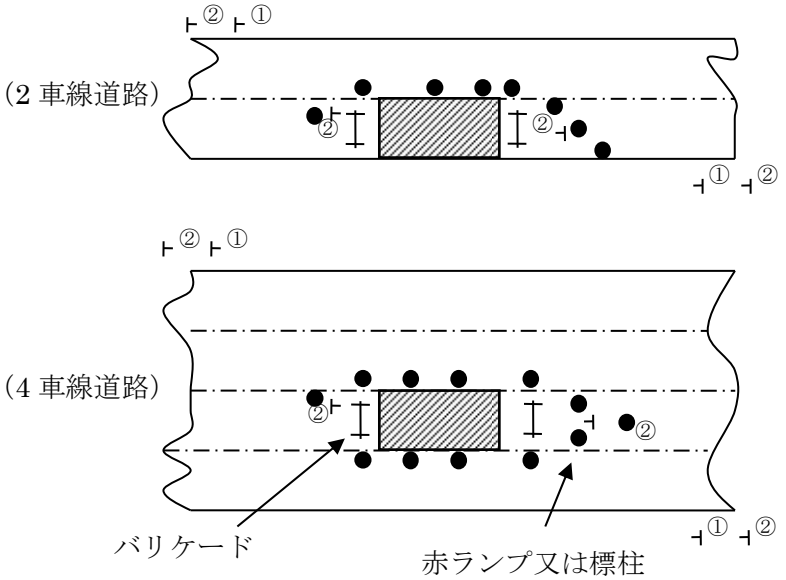
３　　必要に応じて「まわり道４５０M→」又は→の文字若しくは記号に反射装置を施すものとする。

3　防止柵等

道路工事で危険、立入禁止のため柵を設ける場合は、当該箇所にバリケード等の設備を適切に設置し、必要な標識類を設置する。車線の一部分が工事中の場合の防止柵及び標示板の設置例を以下に示す。

① 必要があれば設置する

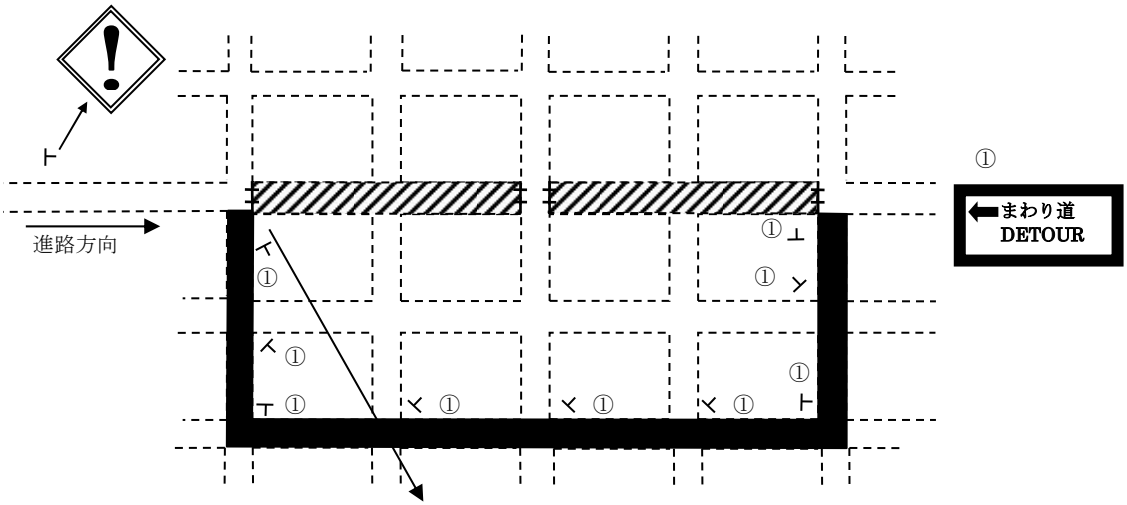
②

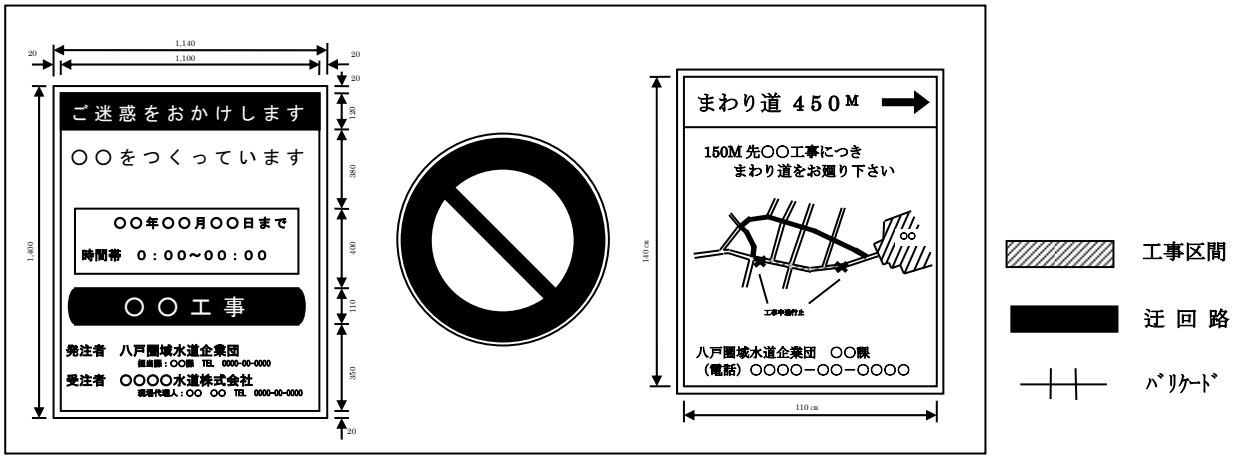


4　参考

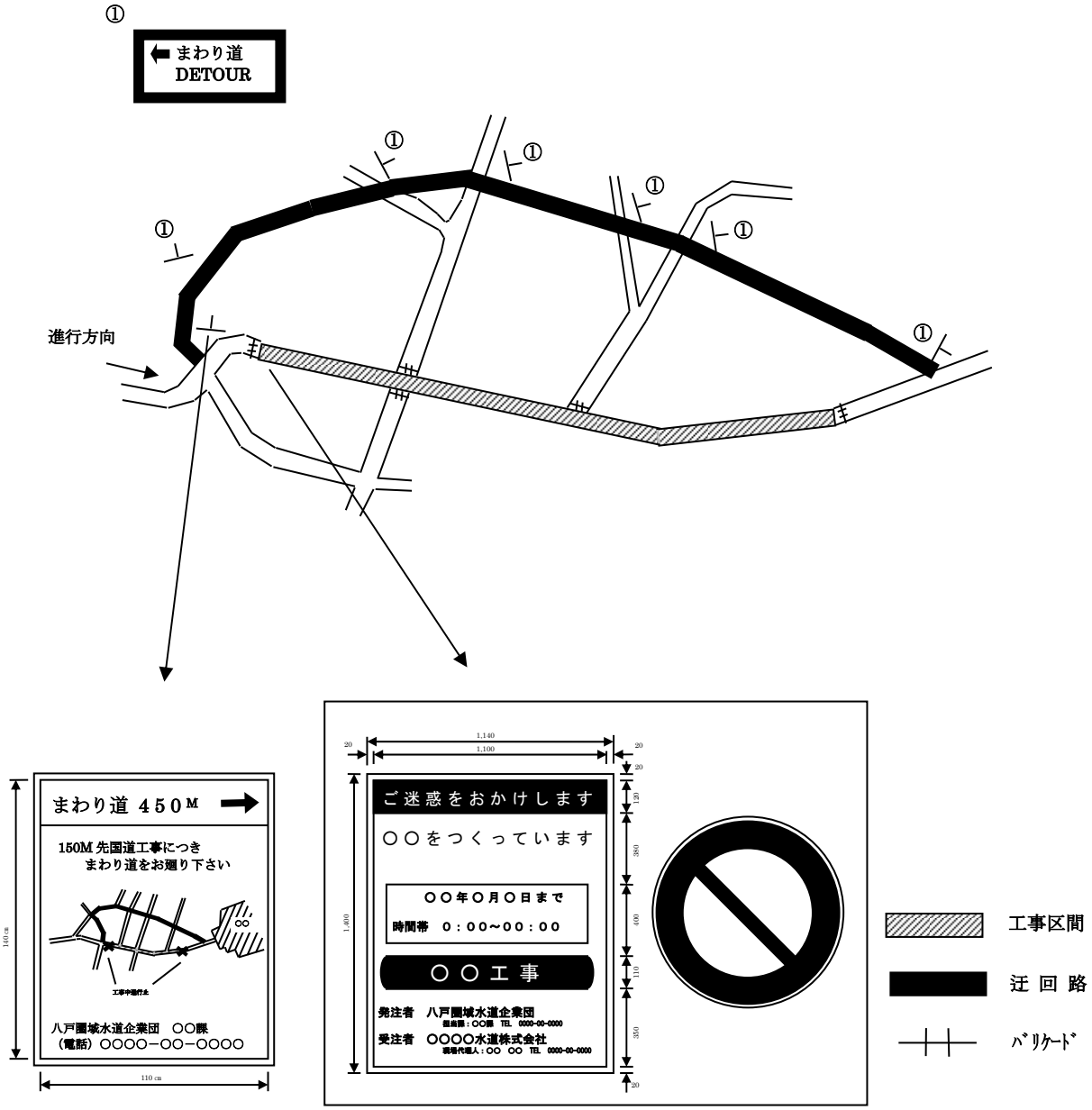
(1)　工事中迂回路の標示例(市街部の場合)

(進路方向に対する標識の設置例を示す)

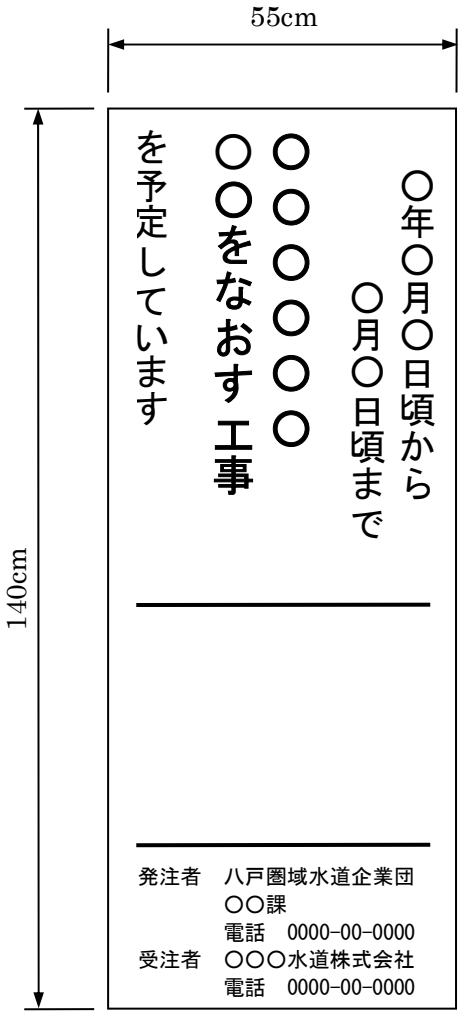




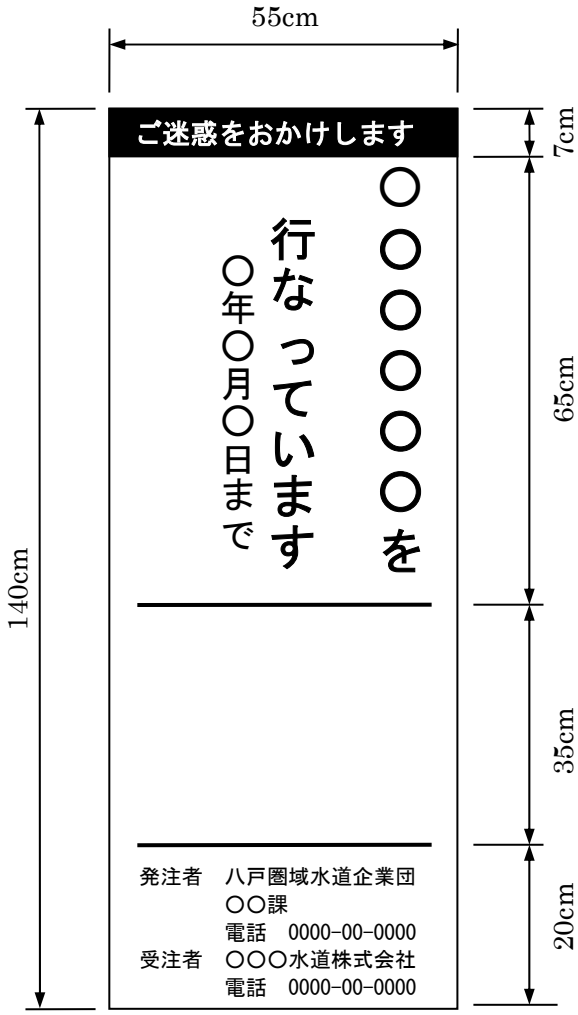
(2)　工事中迂回路の標示例（地方部の場合）
（進行方向に対する標識の設置例を示す）



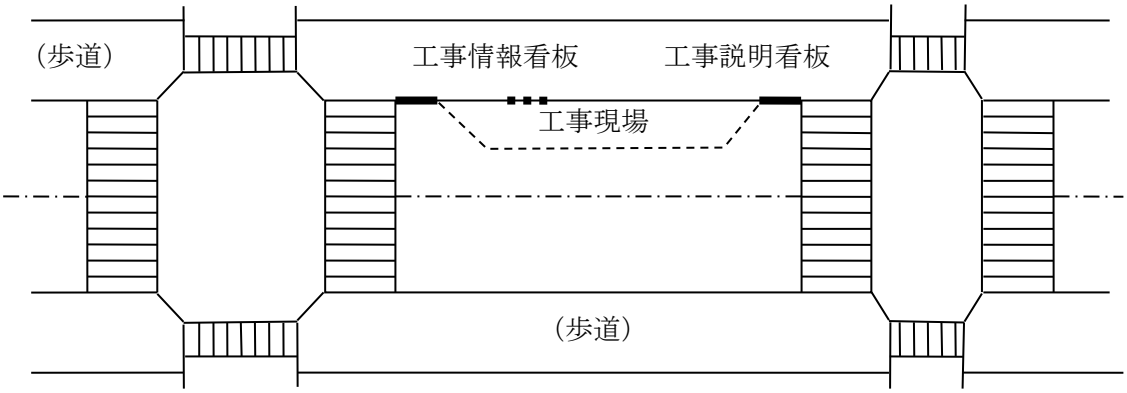
工事情報看板



工事説明看板



(1)　色彩は「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文については青字に白抜き文字、「○○○○を行なっています」等の工事内容については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。

(2)　工事情報看板及び工事説明看板の下部に、当該工事に関する番号や問い合わせ先等を掲示することができる。

標示板の設置場所